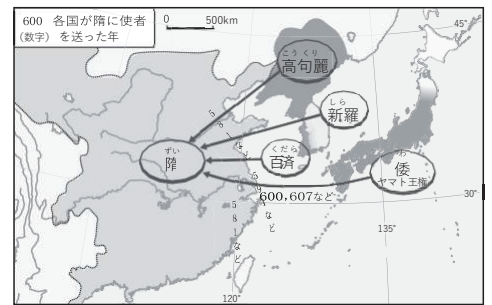


1. 朝鮮半島の動乱と隋の誕生

資料A 6世紀末～7世紀初めの東アジア

- (1) 資料Aを見て、東アジアの国々の多くが隋に使者を送った理由を説明しよう。

--



- (2) 文化を取り入れるほかに、朝鮮半島の国々やヤマト王権が隋に使いを送った目的を考えてみよう。

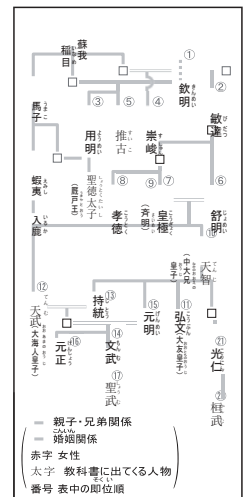
--

2. 蘇我氏と聖徳太子

資料B 天皇と蘇我氏の系図

- (1) 蘇我氏が大きな力をもっていた理由を挙げてみよう。

--



- (2) 聖徳太子が蘇我氏と協力して行った政治についてまとめてみよう。

①	家柄にとらわれず、有能な人を役人に登用する制度
②	役人の心得を示す法令
③	の派遣 小野妹子らを隋に派遣

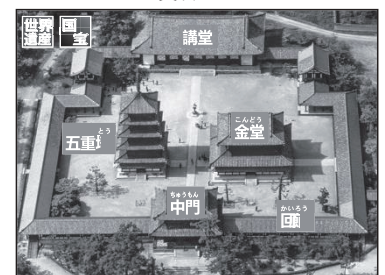
- (3) 聖徳太子と蘇我氏が改革を通じてどのような国家づくりを目指していたのか、説明してみよう。

--

3. 最初の仏教文化

- (1) 聖徳太子が建立した資料Cの寺院を何というだろうか。
- (2) 資料Cの寺院を建立するなど、蘇我氏と聖徳太子が仏教を重視するようになった理由を説明してみよう。

--



「説明しよう」にTRY

◆ 蘇我氏や聖徳太子が改革を行った理由を、中国との関係から説明しよう。

.....

.....

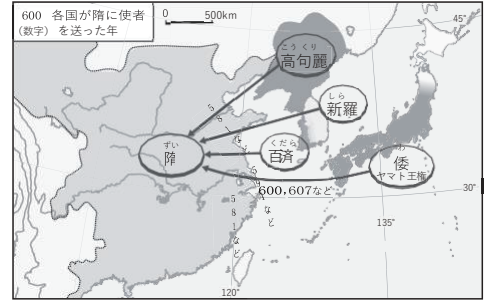
.....

「Ⅰ ヤマト王権と仏教伝来」

1. 朝鮮半島の動乱と隋の誕生

資料A 6世紀末～7世紀初めの東アジア

- (1) 資料Aを見て、東アジアの国々の多くが隋に使者を送った理由を説明しよう。



(例) ・強大な国なので、力を借りたかった。
・文化や制度を学びたかった。 など

- (2) 文化を取り入れるほかに、朝鮮半島の国々やヤマト王権が隋に使いを送った目的を考えてみよう。

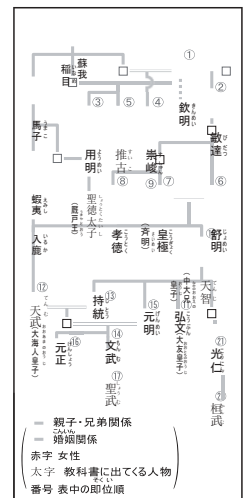
(例) 大帝国となった隋と友好関係を結ぶことで、東アジアにおける自国の安定化を目指したため。

2. 蘇我氏と聖徳太子

資料B 天皇と蘇我氏の系図

- (1) 蘇我氏が大きな力をもっていた理由を挙げてみよう。

(例) 蘇我馬子の娘が聖徳太子と結婚しており、馬子は聖徳太子の義父にあたるため。
(ライバルの物部氏を倒し、) 聖徳太子の叔母の額田部王女を大王としたため。



- (2) 聖徳太子が蘇我氏と協力して行った政治についてまとめてみよう。

① 冠位十二階	家柄にとらわれず、有能な人を役人に登用する制度
② 十七条の憲法	役人の心得を示す法令
③ 遣隋使 の派遣	小野妹子らを隋に派遣

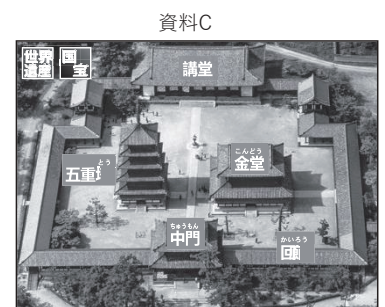
- (3) 聖徳太子と蘇我氏が改革を通じてどのような国家づくりを目指していたのか、説明してみよう。

(例) 大王を中心とする中央集権的な国家づくり。

3. 最初の仏教文化

法隆寺

- (1) 聖徳太子が建立した資料Cの寺院を何というだろうか。
(2) 資料Cの寺院を建立するなど、蘇我氏と聖徳太子が仏教を重視するようになった理由を説明してみよう。



(例) 仏教は、鉄に代わり豪族との結びつきを維持するために大きな役割を果たし、かつそれまで権威を示す象徴であった古墳に代わって寺院が重視されるようになった。

「説明しよう」にTRY ◆ 蘇我氏や聖徳太子が改革を行った理由を、中国との関係から説明しよう。

(例) 中国で隋が大帝国を築き、周辺諸国が緊張状態になったため、蘇我氏と聖徳太子は国の政治を大王中心の政治に整えることで、隋に認めてもらい隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れようとしたから。